



Robotic Increase Center

ロボットビジネスの全貌シリーズ

もう一段上のステージを目指すあなたへ

II 実践編

6.汎用化への道

「新たな価値」の仕組みの提供

監修 NPO 法人ロボティック普及促進センター
編集発行 ロボットメディア

はじめに

「ロボットビジネスの全貌シリーズ」は、2005年からロボットビジネスのさまざまな実務にプレイヤーとして関わり、考え、実践してきたことをあらためてまとめたものです。

I 基礎編、II 実践編、III 資料編、IV 展開編で構成され、全体を俯瞰することでロボットビジネスの全貌を理解できる内容になっています。

コロナ禍やテクノロジーの急速な進展により個人や社会が本質的に変化し、また、人手不足の深刻化により、あらゆる産業が競争力を維持しようと先進技術の導入に注目しています。

本書は、「II 実践編 5.いかに収益を上げるか ロボットのビジネスモデル」を踏まえ、生成 AI などの先進技術が日常生活や社会に取り組みされていく中であって、いかに日本のロボットビジネスの「価値筋」を見つけ、ロボットに求められる「新たな価値」の提供に結び付けていくのかなどを数多くの事例と図表を交えて紹介しています。

そして、ロボットならではの「特別で劇的な新しい価値」について、4つの視点（経営、労働者、Well-Being、人々の願い）から詳細に解説しています※。

※19ヶ国 325社・機関の 448事例と 85のイラスト図表を記載（2023年7月20日時点）

ロボットビジネスは「生産性やサービスの向上」といった「一面的な価値」だけにとどまるものではありません。

今後、数多くの「物理的行動を伴うリアル社会のサービス」を通して、ロボットならではの「特別で劇的な新しい価値」が次々に登場し、やがては「誰もがよりクリエイティブで心躍る時間を生きる＝「ワレラの時代」が訪れるはずです。

これから新規事業としてロボットビジネスを始める大手企業やスタートアップはもちろん、すでにロボットの事業を始めてはいるけれど他社との違いを見出すことに苦労されている方や、ロボットビジネスへの参入が遅れてしまい、どうしたものかと躊躇している方にとっても、ロボットを活用した「新しい価値」について考えるヒントを得る機会になることでしょう。

生成 AI の急速な浸透や中国をはじめとする海外製ロボットの国内参入が相次ぐ中で、ロボットビジネスをもう一段上のステージに導く、すべての方に貢献できれば幸いです。

2023年7月20日

(株)ロボットメディア 小林賢一

目次

1.日本のロボットビジネスの「価値筋」

- (1)A⇒B ではない
- (2)席卷される前に為すべきこと
- (3)どうすればいいのか
- (4)処方箋

①～⑪ 本編には記載

(5)ロボットならではの「特別で劇的な価値」

- ①マインドの「グレートリセット」
- ②ロボットならではの「特別で劇的な価値」の創出
- ③X番目の「特別で劇的な価値」の探求
- ◆ワークショップ「ロボットビジネス・マインドリセット」

2.ロボットに求められる「新たな価値」の提供

- (1)概要
- (2)「3」という数字
- (3)他社との差別化

3.汎用化への道 ロボットならではの「特別で劇的な新しい価値」

- (1)特別で劇的な「新奇性」「革新性」、「差別化」
- (2)経営視点

①～⑦ 本編には記載

(3)労働者視点 ～多様な働き方、分散型の働き方～

①～⑤ 本編には記載

(4)Well-Being ～暮らしの質・健康観・モチベーション～

①～⑧ 本編には記載

(5)人々の願い ～汎用化への道～

①～④ 本編には記載

4.グラン☆ロボティック 「ワレラの時代」へ

- (1)日本がロボット分野で勝ち続けるには
- (2)ヒトと機械と社会との劇的關係性「物理的行動を伴うリアル社会のサービス」が中心に
- (3)「ワレラの時代」が始まる

ロボットビジネスの全貌シリーズ

II 実践編 6.汎用化への道 「新たな価値」の仕組みの提供

監修 NPO 法人ロボティック普及促進センター

編集発行 ロボットメディア

2023年7月20日

定価 25万円(税込)